

兵庫県福祉サービス第三者評価の結果



(承認番号 第582号)

1 評価機関

名 称	株式会社 第三者評価 http://daisansha.lolipop.jp/
所 在 地	大阪市東淀川区東中島1-17-5 ステュディオ新大阪
評価実施期間	2013年5月23日～2014年3月13日 (第一段階実地訪問調査日 2014年1月28日) (第二段階実地訪問調査日 2014年2月21日)
評価調査者	HF05-1-0098 III・A章担当 リーダ 吉山 浩 HF06-1-0019 I・II章担当 山田 奈津 HF10-1-0002 報告書査読 加藤 文雄

※契約日から評価
結果確定日まで

2 福祉サービス事業者情報

(1) 事業者概要

事業所名称: イーグレ分園	種別: 第2種社会福祉事業 児童福祉施設 保育園
代表者氏名: 黒石 芳子 園長 藤原 育子 主任保育士 高見 英里 副主任保育士	開設年月日: 平成 22年 4月 1日
設置主体: 社会福祉法人 夢工房	定員 30人 (利用人数) 31人
所在地: 〒670-0012 姫路市本町68-290 イーグレひめじ1F	
電話番号: 079(284)5125	FAX番号: 079(284)4922
E-mail: egret@yumekoubou.or.jp	ホームページアドレス: http://www.yumekoubou.or.jp/hoiku

(2) 基本情報

<p>理 念</p> <p>子どもの最善の利益を考慮し利用者主体を根幹に、行政、地域、保育園の緊密な連携を強化し、地域子育て支援の核となる。</p> <p>方 針</p> <p>子どもは豊かに伸びていく可能性をそのうちに秘めている。 その子どもが現在を最もよく生き、望ましい未来をつくり出す力の基礎を培う。</p>

見るもの、聞くものに好奇心を誘発され、人に認められ、誉められ、喜ばれることにより、自分自身が生きている意味を、子どもなりに感じたり、愛情を沢山注がれた「人間」の、生きる力の大きさを、大切にできる保育と、人から守られるだけでなく、自立していく過程で困難なことや、悲しいことに立ち向かう勇気と気力を育てていくために、成長過程で生じる課題を解決しようとする自立意欲を助長し、それを実践できる機会を大切に考えられる保育を目指す。

力を入れて取り組んでいる点

私達、イーグレ分園は0～2歳児までの未満児保育園です。
毎日かわいい子ども達と、少しでもお家にいるような環境で過ごしてほしいと努力しています。
木の温かみを感じられるような家具を取り入れ、自然の緑を配置することによって落ち着いて過ごす事が出来るようにしています。
一人ひとりの子ども達ときっちり向き合い、第二のママとなれるよう担当制を取り入れ、子ども達が安心して甘えられる保育士になれるよう心がけています。

【笑顔で挨拶】

- 子どもや保護者、近隣の方々に笑顔での挨拶を心掛けています。
特に4月・5月では、保護者との信頼関係の構築の為に職員全体の目標として立てており、その後も引き続き行なっています。

【保育環境】

- 保育室がガラス張りで見通しが良い為、他のクラスの状況が把握し易くなっています。
職員間で子ども全体の状況を共通理解し、必要に応じて補助に入る等して日々の子どもの怪我の防止や個々の欲求が満たせるように努めています。
- 乳児のみの保育園の為、少人数でゆったりとしています。
保育士が個別にゆったりと関わる事で、子どもが安心して過ごせるように個々に合わせ家庭的な保育が行なえるように努めています。
- 近くに公園や動物園があります。
公園では好きな遊具で思いきり遊ぶ事や、気候が良い日に動物園へ散歩に出掛ける事が出来るので、動物を見たり触れたり十分に楽しめるようにしています。
- 街中の保育園ですが、周りに自然があります。
季節に合わせた花を保育室や玄関に飾る事で、子どもが身近に見たり触れる事も出来ます。
- カタツムリやバッタ、トンボ等の昆虫を見つける事が出来る散歩コースを作っています。



職員配置	職 種	人 数	職 種	人 数	職 種	人 数
()内は 非常勤	園長	本園と兼務	保育士	5 (1)	事務員	(1) 本園と兼務
	主任保育士	1	調理員	(1)	バス用務員	(1) 本園と兼務
	副主任保育士	1				

児童人数 (平成25年1月1日現在)

0歳児	1歳児	2歳児	合計 31名
9名	10名	12名	

2歳児卒園後の動向 (人)		姫路保育園へ	その他保育園へ
平成26年3月卒園予定	12	3 (25%)	9
平成25年3月卒園生	10	4 (40%)	6
平成24年3月卒園生	11	4 (36%)	7

施設の状況



“黒田官兵衛”の故郷 姫路市で昭和22年に開設(67年の歴史)の姫路保育園の分園として、姫路市の中心街のど真ん中に在るイーグレひめじの1Fにあります。

☆ドキドキ・ワクワク 入園式☆	☆みんな大好き！ プール遊び☆	お散歩へ出発♪
		

☆初めての発表会☆	☆クリスマス会☆	☆新聞遊び☆ 何ができるかな?!
		

3 評価結果



(承認番号 第582号)

今年NHKの大河ドラマで取り上げられた“黒田官兵衛”の故郷“姫路市のど真ん中イーグレひめじの1F、極めて保護者からの評価が高い保育園です

◇ 特に評価の高い点

- (1) 姫路市内には、平成26年2月現在、公立32+民間75=合計107の保育園があります。厚生労働省・兵庫県が保育サービスの質の向上を目的とし、推奨する福祉サービス第三者評価を受審した保育園は民間の9保育園のみです。
(受審率 8.4% ⇒ 姫路市は、兵庫県内の他の市の保育園に比べて低い受審率です)
イーグレ分園は、2010年2月の第1回受審に引き続き、2013年4月に改定され難易度がアップした77(乳児版)の基準項目で日々の保育サービスの振り返りを行い継続的に改善を実施し、姫路市内で初の第2回めの受審を行い、その評価結果を公表する事で、「保育所保育指針」が保育園に求める、また厚生労働省が社会福祉法人に求める『社会的責任』を果たしました。
- (2) 全ての年齢で極めて高い保護者評価結果となっています。日頃の努力の賜物です。
(2013年12月実施の保護者アンケート結果より)

[ポイントは 5点満点で保護者満足度を絶対評価値]

順位	年齢・クラス	ポイント	回収率 (%)
	1歳児 りす組	4.8	90% (9/10)
	0歳児 こりす組	4.6	100% (7/7)
	2歳児 うさぎ組	4.3	92% (11/12)

保護者の生の声

- ① 子ども一人ひとりをしっかり見えています。安心・信頼の関係が出来ていて、
担任の先生と保護者がなんでも相談できる関係にあります。

- ・ 子と担任の先生との信頼関係が出来ている。(0歳児こりす)
- ・ 個人を大切にしてくれている。(0歳児こりす)
- ・ 気づいたことがあれば報告をしてくれる。(0歳児こりす)

- ・ アットホームで先生方が全体で子どもをみてくださる。(1歳児りす)
- ・ 先生がどなたも子どもが好きである。(1歳児りす)
- ・ 少人数の園という事で子ども一人ひとりにしっかりと目を向け保育していただいていると思います。(1歳児りす)
- ・ 職員の方々が子供の事を良く考えて下さる。(2歳児うさぎ)
- ・ 少人数で面倒が良く見れている。(2歳児うさぎ)
- ・ 一人ひとりしっかりと見てくださる保育園だと感じました。(2歳児うさぎ)

② 戸外遊びが多い

近隣の最高のローケーションを活用し、散歩で公園・動物園によく行きます

- ・ 動物とのふれあいを大切にするイベントを定期的に行っている。(0歳児こりす)
- ・ 園庭はないが積極的に戸外へ出てお散歩にいたり子供達を楽しませてくれていると思います。(1歳児りす)
- ・ 積極的にお散歩など連れていってくれる。
散歩に行った日はうれしそうに話してくれる。(2歳児うさぎ)

(3) 主任保育士・副主任保育士は、PDCAマネジメント能力に長けています。

小さな保育園は要となる優秀な人材を3名確保できれば、“人を育てる事が出来る人を育てる”や“基盤が整い応用の利く機能的な組織”に化学変化します。次の1年でもう1名、要となるPDCAマネジメント能力に長けた保育士を現員の中から育て上げましょう。それが出来れば、姫路と言わず兵庫県下でトップクラスの保育園になると思います。

(4) 姫路市の官兵衛イメージキャラクター「かんべえくん」も市内の他の保育園に先駆けこちらの保育園に来園しました。



かんべえくん来園 2014年2月24日(月) 一緒に体操をしました



姫路市作成 ひめじの官兵衛 見参! パンフレットへリンク
http://himeji-kanbee.jp/down/images/kanbei_web.pdf

☆ 改善を求められる点は1点です。

I-1-(2)-② 理念や基本方針が保護者に周知されている。

入園時に説明したり、掲示したり、保育参観(3月)等でも繰り返し伝え周知している取り組みは確認できました。しかし、プロフェッショナルにとって、取り組んだ結果はどうかは重要です。2013年12月実施の保護者アンケート結果の2歳児の数値を見る限り、ねらい通りの結果になっているとは思えません。0・1歳児では周知の度合いは高いので、何が違ったのか要因分析し、周知度合いの数値目標を設定し、知恵を振り絞って考え、あの手この手で試行錯誤される事を期待致します。

★ 今後とも注意深く取り組む必要がある点は1点です。

- (1) 長時間保育で担任以外の方が子ども・保護者のお迎えを見送る場合でも
“その日の子どもの様子”をお迎え時に保護者にほんの一言でも良いので伝える事
(2歳児うさぎクラスから 保育園に対する要望として お帳面が無いので
“一日の子どもの様子をもっと伝えて” 2件のコメント記載があります)

○ 第三者評価結果に対するイーグレ分園のコメント

この度、第三者評価を受審させていただき、全職員で取り組むことにより、より良い保育園に向けての課題を具体的に職員全員が意識する事が出来たと思います。

第三者評価を機に、さらに保育園全体の向上を目指しての取り組みを行う為の準備を職員全体で出来た事は、同じ目標に向かって進む為の結束がより強くなったように感じています。

そして、同時に改めて普段とは違う保護者様の声を聞かせて頂くことが出来ました。

改善が必要な所、さらに進化が必要な所に気づかせていただきました。大好きな子ども達、保護者様をはじめ、地域の方々にこの保育園で良かったと思って頂けるよう職員一同力を合わせ、頑張っていきたいと思います。

そして私達が、伝えきれていなかった夢工場の思いを伝えるべく努力し、安心感のある、より良い保育園となれるよう努力していきたいと思います。

○ 各評価項目に係る第三者評価結果 (別紙1)

○ 各評価項目に係る評価結果グラフ (別紙2)

評価細目の第三者評価結果

各項目右端の評価結果欄 a、b、c の表記について	
a	全ての項目を満たす 目標となる高いレベル
b	1つ以上の項目を満たす 標準的レベル
c	いずれの項目も満たさない 改善が必要なレベル
☆☆ 2回目受審の保育園様ですので、きつめの評価を実施しています ☆☆	

評価対象 I 福祉サービスの基本方針と組織

I-1 理念・基本方針

	第三者評価結果
I-1-(1) 理念、基本方針が確立されている。	
I-1-(1)-① 理念が明文化されている。	a
I-1-(1)-② 理念に基づく基本方針が明文化されている。	a
I-1-(2) 理念や基本方針が周知されている。	
I-1-(2)-① 理念や基本方針が職員に周知され実践されている。	a
I-1-(2)-② 理念や基本方針が保護者に周知されている。	b

特記事項

保育園の職員が一丸となってサービスを提供できるよう法人全体で『保育理念』の共有化に力を入れています。「入園のしおり」や「パンフレット」への保育理念の記載と配布、園内に保育理念を掲示して周知するとともに、職員に対して採用時、年に1回の法人全体研修に加え、職員会議でさらに理解を深める取り組みをしています。

2013年12月、保護者を対象にアンケート調査を実施しました。その中で2歳児の保護者の方から保育理念や方針について「あまり知らない」という回答が4件(36%)ありました。それを受け、次年度から毎月の「おたより」で保育理念や方針について繰り返し説明し、ご理解いただく取り組みを開始します。

保護者に周知していく取り組みは、とても難易度が高い事は弊社でも重々承知しておりますが、この項目に関しては、兵庫県の基準より“きびしめ”に判断し、b評価と致しました。よく知っている+まあ知っている=最低70%以上は確保できる様いくつかの手段を組み合わせ、ねばり強く何度も繰り返し伝える取り組みを期待します。(重要な事は繰り返し何度も何度も)

地域の関係諸機関に対しても、入居するビルの館内掲示板にポスターを貼って周知しています。

★ 2013年12月実施アンケートより 保護者に聞いた「保育園の理念・方針をご存じですか？」への回答結果

保護者さまの回答	(人)	2歳児	うさぎクラスの家族数	12人	(回収11)	回収率91.7%
よく知っている	1	(9%)	まあ知っている	2	(45%)	
どちらともいえない	3	(27%)	あまり知らない	4	(36%)	まったく知らない 1 (9%)

参考) 1歳・0歳は下記の如く、周知徹底されています。

保護者さまの回答 (人) 1歳児 りすクラスの家族数 10人 (回収9) 回収率 90%
よく知っている 7 (78%) まあ知っている 2 (22%)

保護者さまの回答 (人) 0歳児 こりすクラスの家族数 7人 (回収7) 回収率 100%
よく知っている 4 (57%) まあ知っている 3 (43%)

I-2 事業計画の策定

	第三者評価結果
I-2-(1) 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	
I-2-(1)-① 中・長期計画が策定されている。	a
I-2-(1)-② 中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている。	a
I-2-(2) 事業計画が適切に策定されている。	
I-2-(2)-① 事業計画の策定が組織的に行われている。	a
I-2-(2)-② 事業計画が職員に周知されている。	a
I-2-(2)-③ 事業計画が利用者等に周知されている。	a

特記事項

一法人複数施設の特徴を活かし、法人全体で取り組む必要がある『人材育成計画』は本部が集中して計画実施しています。園の「中長期計画」は法人全体の中長期計画と連動し、また園個別の事業については地域の特徴を勘案しながら職員や保護者の意見、また姫路市発行の「姫路市の現状についてのデータ資料」の内容を取り入れながら策定しています。

計画は年度当初「安全点検」「ヒヤリハット」「環境整備」等の係・担当ごとに日常の問題と課題を整理し、それを園長・主任・副主任で構成される三役会議で、決められた園のテーマとリンクさせて策定します。また5月、9月、3月に定期的に計画の進捗を確認し、内容をモニタリングしながらより実効性のあるものへと変化させています。この業務の流れがあるので各職員が園の計画の内容を把握・理解でき、責任をもって事業実施にあたることができます。

保護者には入園式と年度末懇談会時に説明し、さらに5月に年間行事予定表を配布し、計画内容の周知に努めています。

「中長期計画」の抜粋（平成25年度～29年度 5カ年間） 【 未来予想図 】

平成25年度実施済み分 カーテン取替え、食料備蓄、挨拶運動 他
平成26年度実施予定 園バスシート補修（保護者会への申請）、園児への交通安全指導 他
平成27年度実施予定 園バス購入 他
平成28年度実施予定 窓設置 他
平成29年度実施予定 3度目の第三者評価受審 他

◎ 通園バスのシートは間もなく見違える程、綺麗になりますので、子どもたち もうちょっと 待っててなあ

I-3 管理者の責任とリーダーシップ

		第三者評価結果
I-3-(1) 管理者の責任が明確にされている。		
I-3-(1)-①	管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。	a
I-3-(1)-②	遵守すべき法令等を正しく理解するための取組を行っている。	a
I-3-(2) 管理者のリーダーシップが発揮されている。		
I-3-(2)-①	質の向上に意欲を持ちその取組に指導力を発揮している。	a
I-3-(2)-②	経営や業務の効率化と改善に向けた取組に指導力を発揮している。	a

特記事項

管理者の役割は「職務分掌・施設長責任義務」の文書で明文化されています。その内容は各クラスに配布・常備されているので、いつでも確認できます。また管理者の役割の評価について人事考課に上位・下位の360°評価を実施し、適切に指導力が発揮されているかモニタリングを実施しています。

保育の質の向上をめざし、入園前と大きな行事（年5～6回）実施ごとに「保護者アンケート」を実施して、保護者の要望を取り入れながら保育の内容の改善に取り組んでいます。また、管理者は常々職員の状態に目を配り、必要に応じて職員の相談にのりサービスの質の安定に努めています。

園の運営には法人全体の管理者が影響するので、法人全体で理事長のリーダーシップ評価も実施しています。人事考課の際に職員が無記名で理事長のリーダーシップに関する意見を提出し、理事長が積極的に自身の指導力の改善に取り組んでいます。

遵守すべき法令を「一覧表」にし、コンプライアンス（compliance：法令・社会規範・倫理を遵守することがこれまで以上に重視されており、内部統制システムの構築に取り組むこと）遵守活動も実施しています。

⇒ 良き社会人が 良き保育サービスを行う

評価対象Ⅱ 組織の運営管理

Ⅱ-1 経営状況の把握

	第三者評価結果
Ⅱ-1-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	
Ⅱ-1-(1)-① 事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	a
Ⅱ-1-(1)-② 経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取組を行っている。	a
Ⅱ-1-(1)-③ 外部監査等が実施されている。	a

特記事項

法人で独自に保育制度の有識者と学習会を開き、常に最新の動向について情報を入手し、またそこから将来の経営の予測を立てています。また有識者を招いた研修会を全職員対象に開催し、各園でも職員自ら将来の経営に興味をもつように働きかけています。

また日常業務の中でも各職員がコスト意識をもち、改善に努めています。関西電気保安協会の月1回の定期診断の結果を活用した節電、ゴミ袋やビニール手袋の効率的な使用、食器の破損削減などは職員ひとりひとりが意識・空府して取り組んでいます。

外部監査は平成25年度に専門の会計士により実施されていました。

Ⅱ-2 人材の確保・養成

	第三者評価結果
Ⅱ-2-(1) 人事管理の体制が整備されている。	
Ⅱ-2-(1)-① 必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	a
Ⅱ-2-(1)-② 人事考課が客観的な基準に基づいて行われている。	a
Ⅱ-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。	
Ⅱ-2-(2)-① 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	a
Ⅱ-2-(2)-② 職員の福利厚生や健康の維持に積極的に取り組んでいる。	a
Ⅱ-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	
Ⅱ-2-(3)-① 職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	a
Ⅱ-2-(3)-② 個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取組が行われている。	a
Ⅱ-2-(3)-③ 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	a
Ⅱ-2-(4) 実習生の受け入れを適切に行われている。	
Ⅱ-2-(4)-① 実習生の受入と育成について基本的な姿勢を明確にした体制を整備し、積極的な取組をしている。	a

特記事項

人材の確保・育成について、法人内で複数施設を持っているスケールメリットを活かし効率的に実施しています。そのなかで当園の特徴は、職員がじっくり落ち着いて育成されています。そのため園児や保護者の方々との結びつきが強く、安心して保育が実施できている点です。

研修体制に関しては「法人全体研修計画」と「各園個別の研修計画」を組み合わせ、管理者に必要なマネジメント能力と保育専門職に必要な専門能力両方の育成がなされています。専門職研修では講義形式の研修では

なく、ロールプレイや検討を通じて、職員の学習効果を高めています。

実習生の受け入れについては、実習生にも初めに園の『保育理念』を丁寧に説明し、理解したうえで実習にあたってもらっています。実習期間中以外にも姫路市を交えて養成機関と連絡会を開催し、実習生の育成を支援しています。

実習生受け入れ実績 平成25年度 0人 平成24年度 1人 平成23年度 1人

II-3 安全管理

	第三者評価結果
II-3-(1) 利用者の安全を確保するための取組が行われている。	
II-3-(1)-① 緊急時(事故、感染症の発生時など)における利用者の安全確保のための体制が整備されている。	a
II-3-(1)-② 災害時に対する利用者の安全確保のための取組を行っている。	a
II-3-(1)-③ 利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。	a
II-3-(1)-④ 食中毒の発生時に対応できるマニュアルがあり、さらにその対処方法については、全職員にも周知している。	a
II-3-(1)-⑤ 不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知している	a

特記事項

利用者の安全を確保するためのマニュアル(『保育安全マニュアル』、『給食衛生管理マニュアル』、『感染症対応マニュアル』、『避難訓練の手順』等)は法人全体で整備されています。また毎年見直しも実施されています。マニュアル類はファイリングされクラスごとに配置されているので、職員がいつでも業務の内容を確認でき、何かあった場合に慌てることなく対応できています。

事故や感染症の発生時の取り組みについて、園長が環境の確認を随時実施しています。また日々の取り組みは安全点検係やヒヤリハット係、感染症係、厨房等の担当者と責任者を明確にし、市等の関係諸機関と情報交換しながら業務改善に努めています。事故等の報告は主任が責任者となって情報をとりまとめ対応しています。ヒヤリハット事例は月1回ヒヤリハット会議で実践の内容を見直すだけでなく、職員会議でその内容を報告したうえ職員全員で事故防止に取り組んでします。園児が毎日使用する遊具の点検は職員による日常の点検に加え専門業者が年1回点検を実施し、事故防止につなげています。火災に対しても毎月の訓練を通じ、園児の安全確保に努めています。

南海トラフに対する減災対策として、『地震、津波、土砂災害等減災マニュアル』や『通園バス用減災マニュアル』を作成し、職員への教育を行い、大災害時の避難場所を明確にし、「備蓄リスト」を作成し、管理栄養士が管理しています。備蓄(食料、備品)の品揃え、量に関しては一考が必要と思われま

す。阪神大震災(1995年1月)から19年経過し、ほとんどの職員が震災後の採用で、また姫路市は被災地ではありませんでした。震災直後の混乱ぶりを当時を知る神戸市や西宮市の保育園で勤務した先輩方から生の声を聞くような事をご検討下さい。

不審者への対応ですが、女性が多い職場という条件を勘案した不審者侵入から警察への通報、警察官が駆けつけるまでの対応のフローを作成し、実効性のある体制を整えています。

II-3-(1)-② 災害時に対する利用者の安全確保のための取組について ; 備蓄の量について

南海トラフ減災の為の備蓄について： 備蓄リストで確認した食料・備品の量では、1日分に達していないと思われます。購入費用、保管場所の問題は重々承知しておりますが、内閣府が想定する地震の規模は、震度6以上です。震度4以上で電車は停止し、震度6で道路上を車が走行する事も難しくなると考えられており、保護者のお迎えは予想以上に遅れます。お迎えまでの間、どうすれば子どもの命を守る事ができるかをご検討下さい。

兵庫県HP 南海トラフ巨大地震津波浸水想定図 播磨地区 (2014年2月19日公表) 姫路市

<http://web.pref.hyogo.lg.jp/kk38/documents/himezi.pdf>

兵庫県HP 南海トラフ巨大地震の津波浸水想定について (解説)

<http://web.pref.hyogo.lg.jp/kk38/documents/nankaisouteikaisetu.pdf>

II-4 地域との交流と連携

	第三者評価結果
II-4-(1) 地域との関係が適切に確保されている。	
II-4-(1)-① 利用者と地域とのかかわりを大切にしている。	a
II-4-(1)-② 事業所が有する機能を地域に還元している。	a
II-4-(1)-③ ボランティア受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	a
II-4-(2) 関係機関との連携が確保されている。	
II-4-(2)-① 必要な社会資源を明確にしている。	a
II-4-(2)-② 関係機関等との連携が適切に行われている。	a
II-4-(3) 地域の福祉向上のための取組を行っている。	
II-4-(3)-① 地域の福祉ニーズを把握している。	a
II-4-(3)-② 地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。	a

特記事項

本園(姫路保育園)は地域での活動の歴史が長く(創立67年)、その中で時間をかけて地域住民と深いつながりが作られています。その上で園の保育理念を重ねて地域に伝え、自治会と協働し地域の活動に参加しています。

また地域の関係諸機関とは学校を中心に活動をともにしています。小学校とは年4回、オープンスクールの行事の時に園児が小学校を訪問し交流するとともに、職員も小学校の教員と交流しています。また地域にある高校の体育祭に園児がマーチングで参加しています。これは普段小さな子供と触れ合うことのない高校生にとっても、保育体験の重要な機会となっています。

ボランティア受け入れ実績 平成25年度 0人 平成24年度 2人 平成23年度 2人

評価対象Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス

	第三者評価結果
Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。	
Ⅲ-1-(1)-① 利用者を尊重したサービス提供について共通の理解をもつための取組を行っている。	a
Ⅲ-1-(1)-② 利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	a
Ⅲ-1-(2) 利用者満足の向上に努めている。	
Ⅲ-1-(2)-① 利用者の満足の向上を意図した仕組みを整備し、取組を行っている。	a
Ⅲ-1-(3) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。	
Ⅲ-1-(3)-① 利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。	a
Ⅲ-1-(3)-② 苦情解決の仕組みを確立し十分に周知・機能している。	a
Ⅲ-1-(3)-③ 利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	a

特記事項

- (1) 子ども・保護者のプライバシー保護（羞恥心に配慮）は、『プライバシー保護に関するガイドライン』（平成22年2月5日作成）に沿って取り組まれていました。
- (2) 2013年12月実施の保護者アンケートは、31人の子ども全29家族にアンケート用紙を配布し、27家族より回収しました。（回収率 93.1%）
その結果は全体的に極めて高く評価されていました。

[ポイントは 5点満点で保護者満足度を絶対評価値]

順位	年齢・クラス	ポイント	回収率 (%)
	1歳児 りす組	4.8	90% (9/10)
	0歳児 こりす組	4.6	100% (7/7)
	2歳児 うさぎ組	4.3	92% (11/12)

- (3) 保護者が意見を述べやすい体制は、玄関入り口直ぐへの苦情解決の仕組みの掲示（第三者委員2名）及び意見ポストの設置があり、相談事をする際の部屋等も確認しました。

イーグル分園 1歳児 りす アンケート結果 2

No.		質問	保護者さまの回答 (人)				
			1 はい	2 どちらとも いえない	3 いいえ	4 わからない	未記入
2013年12月 総家庭数 10家族 9回収/10件 回収率 90%							
IV 「遊び」について							
13		園の遊びに、おさんは満足していると思いますか。	7				2
14		園のおもちゃや教材は、おさんが自由に使えるような体制がとられていると思いますか。	6	1			2
15		お子さんの発達や意欲を促すような道具・玩具が十分に用意されていると思いますか。	6	1			2
16		自然に触れたり地域に囲われるなどの散歩や屋外活動は、十分に行われていると思いますか。	7				2
17		遊びを通じてお子さんの健康づくりへの取組がなされていると思いますか。	6	1			2
18		遊びを通じて物を大切にしたり思いやりや心を育む指導がなされていると思いますか。	4	3			2
V 「生活」について							
19		昼寝や休息は、お子さんの状況に応じた対応がされていると思いますか。	7				2
20		トイレトレーニングについては、家庭と協力しながらお子さんの成長に合わせて柔軟に取り組んでいますか。	6			1	2
21		お子さんの体調について、常に心配りされていると思いますか。	7				2
22		献立表やサンプル表示などで、毎日の給食の内容が分かるようになっていきますか。	7				2

【Ⅸ 総合満足度】

5段階評価

4.8

■満足 ■やや満足 □どちらともいえない ■やや不満 ■不満



Ⅸ 総合満足度



5段階評価 ⇒ 4.8		保護者様の回答 (上段:人 下段:%)				
		⑤ 満足	④ やや満足	③ どちらとも いえない	② やや不満	① 不満
回答数 (人)	9	7	2			
		77.8%	22.2%	0.0%	0.0%	0.0%

Ⅲ-2 サービスの質の確保

	第三者評価結果
Ⅲ-2-(1) 質の向上に向けた取組が組織的に行われている。	
Ⅲ-2-(1)-① サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。	a
Ⅲ-2-(1)-② 評価の結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にしている。	a
Ⅲ-2-(2) 提供するサービスの標準的な実施方法が確立している。	
Ⅲ-2-(2)-① 提供するサービスについて標準的な実施方法が文書化されサービスが提供されている	a
Ⅲ-2-(2)-② 標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。	a
Ⅲ-2-(3) サービス実施の記録が適切に行われている。	
Ⅲ-2-(3)-① 利用者に関するサービス実施状況の記録が適切に行われている。	a
Ⅲ-2-(3)-② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。	a
Ⅲ-2-(3)-③ 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	a

特記事項

<p>(1) 主任・副主任・クラス担任主導で、職員会議の場で評価結果の分析、改善実施事項の優先順位等が話し合わせ実施されています。また、法人内の園長会・主任会・副主任会・栄養士会も毎月のように実施されており、保育サービスの質の向上に積極的な取り組みが実施されています。</p> <p>また、新たな取り組みとして、第三者評価関係の理解度テストを職員全員で2/10（月）に実施しました。そのテスト結果は、残念ながらあまり良いものではありませんでした（平均点 51点 → 目標 60点）ので、その後、訪問調査までの2週間、副主任が率先垂範で猛勉強を実施し、理解度を上げました。</p> <p>訪問調査当日、自信に溢れた副主任の頑張った努力の結果は成果となり直ぐに現れていました。</p> <p>(2) 記録の管理、個人情報保護の取り組みは、『個人情報管理規程』により実施されており、紙に記載された個人情報の漏えいの最大の要因である“職員の園外への持ち出し禁止”も明文化されていました。</p>

Ⅲ-3 サービスの開始・継続

	第三者評価結果
Ⅲ-3-(1) サービス提供の開始が適切に行われている。	
Ⅲ-3-(1)-① 利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	a
Ⅲ-3-(1)-② サービスの開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。	a
Ⅲ-3-(2) サービスの継続性に配慮した対応が行われている。	
Ⅲ-3-(2)-① 事業所の変更や家庭への移行などにあたりサービスの継続性に配慮した対応を行っている。	a

特記事項

<p>パンフレット・ホームページ・入園のしおりにサービス選択に必要な情報の記載があり、入園前面接時に、しおりをを用いて説明しています。「入園の同意書」の内容に理解して、頂いた上で、保護者にサインしてもらっています。</p>

途中退園・卒園時の保護者への手紙を渡しています。

Ⅲ-4 サービス実施計画の策定

	第三者評価結果
Ⅲ-4-(1) 利用者のアセスメントが行われている。	
Ⅲ-4-(1)-① 定められた手順に従ってアセスメントを行っている。	a
Ⅲ-4-(2) 利用者に対するサービス実施計画が策定されている。	
Ⅲ-4-(2)-① サービス実施計画を適切に策定している。	a
Ⅲ-4-(2)-② 定期的にサービス実施計画の評価・見直しを行っている。	a

特記事項

- (1) 子どものアセスメントは、「経過記録」・「児童票」に記録し、保護者の状況が変化した場合は、その都度赤字で記入し把握しています。「経過記録」は、4期に分け、記入を行っている。
全クラス年間指導計画・月案を作成し、指導の段階で個別のねらいに重点を置き、
P (Plan・計画策定) →D (Do・実行) →C (Check・評価) →A (Act・見直し) サイクルで
次回の計画へつなげています。
- (2) また、「2月度月案」に記載された環境構成の図通り部屋が装備されているか配置状況を照合しました。
(知恵を振り絞り工夫して子どもが飽きないように部屋の環境を変えています)

評価対象A 実施する福祉サービスの内容

A-1 保育所保育の基本

	第三者評価結果
A-1-(1) 養護と保育の一体的展開	
A-1-(1)-① 保育所の保育の方針や目標に基づき、発達過程を踏まえ、子どもの心身の発達や家庭及び地域の実態に即した保育課程を編成している。	a
A-1-(1)-② 乳児保育のための適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。	a
A-1-(1)-③ 1・2歳児の保育において養護と教育の一体的展開がされるような適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている	a
A-1-(1)-④ 3歳以上児の保育において養護と教育の一体的展開がされるような適切な環境が整備され、保育の内容や方法に配慮されている。	対象外
A-1-(1)-⑤ 小学校との連携や就学を見通した計画に基づいて、保育の内容や方法、保護者とのかかわりに配慮されている。	対象外
A-1-(2) 環境を通して行う保育	
A-1-(2)-① 生活にふさわしい場として、子どもが心地よく過ごすことのできるような人的・物的環境が整備されている。	a
A-1-(2)-② 子どもが基本的な生活習慣を身につけ、積極的に身体的な活動ができるような環境が整備されている。	a
A-1-(2)-③ 子どもが主体的に活動し、様々な人間関係や友だちとの協同的な体験ができるような人的・物的環境が整備されている。	a
A-1-(2)-④ 子どもが主体的に身近な自然や社会とかかわれるような人物・物的環境が整備されている。	a
A-1-(2)-⑤ 子どもが言葉豊かな言語環境に触れたり、様々な表現活動が自由に体験できるような人的・物的環境が整備されている。	a
A-1-(3) 職員の資質向上	
A-1-(3)-① 保育士等が主体的に自己評価に取り組み、保育の改善が図られている。	a

特記事項

- (1) 法人統一の「保育課程」に沿って、姫路保育園独自の「保育過程」を作成し、「月間指導計画」や「日案」を作成し、『0歳児マニュアル』等に従い、日々の保育を行っています。
- (2) 以前は、0歳児を主にお昼寝時『SIDSチェックマニュアル』に従い、「睡眠チェック表」(寝る向きも含め記載)を記載しています。さらに他府県で1・2歳児でも事故があったというニュースを分析し、対象を2歳児までの園児に広げ実施しています。
- (3) 特定の保育士と継続的な関わりが持てるように、園児一人ひとりに担当を決め関係性を深めています。
- (4) 保育士各人は「保育の見直し自己評価表」にて自分の保育の見直しを行い、知識・技量・技を熱心に磨こうと懸命に努力を積み上げています。
- (5) 今回、感性を磨いて頂く為に、副主任に異分野からも学ぶよう3カ月で課題図書3冊を与え直し読みするようお願いします。

『無印良品は、仕組みが9割 仕事はシンプルにやりなさい』、『トヨタの口ぐせ』(中経出版)、
『灰谷健次郎の保育園日記』(新潮文庫)

☆☆☆ 保育の現場は多忙ですが、何とか時間を作り出し、見事読破されました ☆☆☆

A-2 子どもの生活と発達

	第三者評価結果
A-2-(1) 生活と発達の連続性	
A-2-(1)-① 子ども一人ひとりを受容し、理解を深めて働きかけや援助が行われている。	a
A-2-(1)-② 障害のある子どもが安心して生活できる保育環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる。	a
A-2-(1)-③ 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法が配慮されている。	a
A-2-(2) 子どもの福祉を推進することに最もふさわしい生活の場	
A-2-(2)-① 子どもの健康管理は、子ども一人ひとりの健康状況に応じて実施している。	a
A-2-(2)-② 食事を楽しむことができる工夫をしている。	a
A-2-(2)-③ 乳幼児にふさわしい食生活が展開されるよう、食事について見直しや改善をしている。	a
A-2-(2)-④ 健康診断・歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。	a
A-2-(3) 健康及び安全の実施体制	
A-2-(3)-① アレルギー疾患、慢性疾患等をもつ子どもに対し、主治医からの指示を得て、適切な対応を行っている。	a
A-2-(3)-② 調理場、水周りなどの衛生管理が適切に実施され、食中毒等の発生時に対応できるような体制が整備されている。	a

特記事項

<p>(1) 気になる子への対応について：個人別「指導計画」にて、適切に配慮されて養護・教育されている事を確認しました。</p> <p>(2) 食育について：保護者から評価も極めて高いです。味・見た目の彩・食べやすい為の工夫等、天下一品です。評価者も2度、子どもと共に食事をしました。訪問日2/21（金）の昼のメニューは、「プルコギ」、「ナムル」（韓国料理）でしたが、こんなに美味しいのは初めてで、子どもと共にお代わりをしました。</p> <p>子どもの一番人気は、「カレーライス」で、2月の献立では2/3（月）「赤おにカレー」、2/10（月）「ポーク・カレー」が出ています。趣向を変えて、子どもの要望に応じていました。</p> <p>(3) 健康管理について：毎月、法人の保健師作成の「ほけんだより」を各家庭に配布し、「年間保健計画」を作成し、嘱託医の指導に従い、健康診断、歯科検診を定期的に行っています。</p> <p>『感染症対応マニュアル』、厚労省のガイドラインに沿った『登園停止基準』、『インフルエンザ対応マニュアル』、『ダイアアップ座薬使用マニュアル』等を確認しました。</p>

A-3 保護者に対する支援

	第三者評価結果
A-3-(1) 家庭との緊密な連携	
A-3-(1)-① 子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している。	a
A-3-(1)-② 家庭と子どもの保育が密接に関連した保護者支援を行っている。	a

A-3-(1)-③ 子どもの発達や育児について、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通の理解を得ているための機会を設けている。	a
A-3-(1)-④ 虐待に対応できる保育所内の体制の下、不適切な養育や虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見及び虐待の予防に努めている。	a

特記事項

保護者支援：笑顔での挨拶「行ってらっしゃい」「お帰りなさい」が、保護者の仕事の活力になっています。

保護者より高い評価を受けています。(2013年12月実施の保護者アンケート結果)

ただ、2歳児の保護者より、長時間保育時のお迎えの保護者とのコミュニケーションに関し、『言葉掛けが少ないのでは?』との意見も出ています。特に、伝えなければならない伝達事項は、リストに記載し伝えていますが、「その日の子どもの様子」を長時間保育で保育士のシフト面・入れ替わる職員間の伝達等、難易度は確かに高い事ではありますが、保育のプロフェッショナルとして、“わが子のその日の様子、何に目を輝かせたのか、誰と仲が良いのか、苦手な食事でも食べてたのか、排便はどうだったのか? 今、どんな曲を歌っているのか等”を伝える一段の工夫をお願いします。

子どもの幸せは単独では成り立ちません。子どもの幸せは家族の幸せの中にあると思います。

子どもへの虐待発見への体制：

- ① 『児童虐待対応マニュアル』を作成し、会議等で適時読み合わせを行って、「視診チェック表」を用い、外傷の有無などを確認しています。
- ② 外傷などが確認された際には、写真等で状況を詳しく記録しています。

訪問調査（第1段階）実績報告

ポイント PDCAの継続的改善（1に改善、2に改善、3・4が無くて、5に改善）
(1) 兵庫県の評価基準77項目に沿った仕組みがあるか
(2) 業務は標準化されているか（誰が対応しても最低限の質は保証できるか）
(3) 客観性（マニュアル、記録、掲示）は確保されているか

2014年 1月 28日（火）			
評価員	山田 奈津 (HF06-1-0019) リーダー：吉山浩 (HF05-1-0098 責任者)		
9:10	オープニング会議 ① 評価機関より評価者自己紹介、本日の進め方等の説明 ② 主任より園の概要説明、副主任より力を入れて取り組んでいる点、課題説明 ③ 園内見学		
9:40	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; padding: 2px;"> I章 福祉サービスの基本方針と組織 13項目 II章 組織の運営管理 23項目 (計 36項目) </td> <td style="width: 50%; padding: 2px;"> III章 適切な福祉サービスの実施 19項目 A章 実施する福祉サービスの内容 22項目 ☆ 気になる子(発達障害)全員の個別指導計画を拜見致します。 ★ 各クラスの外遊び・体を使って遊んだ時間が分かる物を確認致します (計 41項目) </td> </tr> </table>	I章 福祉サービスの基本方針と組織 13項目 II章 組織の運営管理 23項目 (計 36項目)	III章 適切な福祉サービスの実施 19項目 A章 実施する福祉サービスの内容 22項目 ☆ 気になる子(発達障害)全員の個別指導計画を拜見致します。 ★ 各クラスの外遊び・体を使って遊んだ時間が分かる物を確認致します (計 41項目)
I章 福祉サービスの基本方針と組織 13項目 II章 組織の運営管理 23項目 (計 36項目)	III章 適切な福祉サービスの実施 19項目 A章 実施する福祉サービスの内容 22項目 ☆ 気になる子(発達障害)全員の個別指導計画を拜見致します。 ★ 各クラスの外遊び・体を使って遊んだ時間が分かる物を確認致します (計 41項目)		
★ 保育状況観察、及び 園庭、外構、調理室、トイレ、玄関等巡回			
昼食	園児と同じ昼食を教室でお願いします 【遠目でアレルギー疾患のお子さんの状況を確認】		
13:00	上記の続き 上記の続き		
15:30	評価員打ち合わせ		
15:40	最終会議（本日の結果のご説明） ☆ 後日、報告書(案)を送付		
16:00			
各人に ①理念 ②方針 ③遵守すべき法令5つ を聞きます			
補足 ① 終了予定時間 16:00頃 ② 適宜、休憩時間を取ります ③ 当日 9:00頃伺います			

訪問調査（第2段階 最終）実績報告

ポイント PDCAの継続的改善（1に改善、2に改善、3・4が無くて、5に改善）
(1) 兵庫県の評価基準79項目に沿った仕組みがあるか
(2) 業務は標準化されているか（誰が対応しても最低限の質は保証できるか）
(3) 客観性（マニュアル、記録、掲示）は確保されているか

2014年 2月 21日（金）			
評価員	山田 奈津 (HF06-1-0019) リーダー：吉山浩 (HF05-1-0098 責任者)		
9:30	オープニング会議 ① 評価機関より評価者自己紹介、本日の進め方等の説明 ② 主任より園の概要説明、副主任より力を入れて取り組んでいる点、課題説明 ③ 園内見学		
10:00	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; padding: 2px;"> I章 福祉サービスの基本方針と組織 13項目 II章 組織の運営管理 23項目 (計 36項目) </td> <td style="width: 50%; padding: 2px;"> III章 適切な福祉サービスの実施 19項目 A章 実施する福祉サービスの内容 24項目 ☆ 気になる子(発達障害)全員の個別指導計画を拜見致します。 ★ 各クラスの外遊び・体を使って遊んだ時間が分かる物を確認致します (計 43項目) </td> </tr> </table>	I章 福祉サービスの基本方針と組織 13項目 II章 組織の運営管理 23項目 (計 36項目)	III章 適切な福祉サービスの実施 19項目 A章 実施する福祉サービスの内容 24項目 ☆ 気になる子(発達障害)全員の個別指導計画を拜見致します。 ★ 各クラスの外遊び・体を使って遊んだ時間が分かる物を確認致します (計 43項目)
I章 福祉サービスの基本方針と組織 13項目 II章 組織の運営管理 23項目 (計 36項目)	III章 適切な福祉サービスの実施 19項目 A章 実施する福祉サービスの内容 24項目 ☆ 気になる子(発達障害)全員の個別指導計画を拜見致します。 ★ 各クラスの外遊び・体を使って遊んだ時間が分かる物を確認致します (計 43項目)		
★ 保育状況観察、及び 園庭、外構、調理室、トイレ、玄関等巡回			
昼食	園児と同じ昼食を教室でお願いします 【遠目でアレルギー疾患のお子さんの状況を確認】		
13:00	上記の続き 上記の続き		
15:30	評価員打ち合わせ		
15:40	最終会議（本日の結果のご説明） ☆ 後日、報告書(案)を送付		
16:00			
各人に ①理念 ②方針 ③遵守すべき法令5つ ④得意技 ⑤テストで出した問題 を聞きます			
補足 ① 終了予定時間 16:00頃 ② 適宜、休憩時間を取ります ③ 当日 9:00頃伺います			